

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

東桃谷小

学校

児童数

37

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.22	21.79	38.84	37.80	50.74	9.43	135.10	21.11	53.33
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.70	19.20	38.60	30.20	38.50	9.88	123.90	10.90	49.90
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は体力合計点が、全国・大阪市の平均を上回った。女子は全国・大阪市平均とも下回っている。種目別に見ると、男子では、反復横とび、立ち幅跳び以外が全国・大阪市平均を上回っている。女子は、上体起こし、長座体前屈、20mシャトルランは全国・大阪市平均を共に上回っているが、それ以外の種目は全国・大阪市平均を下回っている。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対しては、肯定的な回答が男子が95.2%と全国・大阪市平均よりもやや高い数値となっている。女子が81.8%と全国・大阪市平均より下回っている。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が35%と全国・大阪市平均よりも高い数値となっている。女子は20%と全国平均を上回り、大阪市平均とは差異がない。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

校庭の一部芝生化、遊具の増設、運動場の整備、体力向上をめざす取組など、子ども達の運動環境を整え、休み時間等の運動の活発化を図ってきた。また、体育科学習の質を高め、運動に親しみ、運動の特性に触れる機会を数多く持つことができるようにしてきた。結果、男子は、運動習慣、体力合計点ともほぼ全国・大阪市平均を上回っている。一方、女子は運動習慣は、全国・大阪市平均を上回っているが、体力合計点は下回っている。スマホ等の普及により、運動する機会も減少傾向にある。しかしながら、規則正しい生活習慣が整いつつあり、日々の取組の成果もあって、少しずつ体力向上の獲得が図られていると考える。今後は、これまでの取組と子ども達の現状を踏まえ、より運動環境の整備や運動用具・施設の改善と拡充に努めるとともに、子ども達が運動遊びを好んでできるようにしていきたい。また、今以上にICT機器を有効に活用していき、さらなる体育科学習の充実のため、授業改善を図っていく。